

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標 1 各種施策の推進による消防基盤の整備

重点施策 1	社会情勢や消防需要の変化に対応する、「千葉市消防局中長期計画」の見直し	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○変化する社会情勢や消防需要に対応するため、「千葉市消防局中長期計画」を見直し、消防力の整備を進めます。</p>	<p>○千葉市消防局中長期計画について必要な調査・検討を行うため、「千葉市消防局中長期計画検討委員会」を設置した。</p>	総務課
	<p>【成果指標】 ○「千葉市消防局中長期計画」の見直し</p>	<p>《成果》 ○「千葉市消防局中長期計画」の見直しを行った。</p>	
重点施策 2	“市民に身近な消防”を目指すための消防広報の充実強化	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○防災対策、火災予防対策等の重要性について、市民の認識を高め、安全・安心のまちづくりを推進します。 ○パブリシティ等を有効に活用し、消防行政に対する理解と信頼の向上に努めます。 ○広聴業務により、市民ニーズの把握に努め、各種施策に反映させます。 ○災害情報等を迅速・的確に収集します。 ○消防音楽隊による消防広報及び火災予防等の広報活動を充実させます。</p>	<p>○消防広報活動、予防広報活動、施設見学対応及び音楽活動等を実施し、ホームページやSNSを活用した広報活動を行った。 ・報道機関に対応する発表および資料提供 456回 ・防火訓練等 782回 参加人員 51,126名 ・施設見学 180回 参加人員 10,179名 ・消防音楽隊の活動状況 52回</p>	総務課
	<p>【成果指標】 ○市民見学会等において、市民ニーズを的確に把握するためのアンケート調査を実施 ○消防局ウェブサイト年間アクセス件数；865,000件 ○フェイスブックのいいね数；3,000件 ○ツイッターのフォロワー数；6,000件</p>	<p>《成果》 ・市民見学会等においてアンケート調査を実施し、市民へ周知広報を続ける必要性のあるものを把握した。 ・千葉市消防局ウェブサイト年間アクセス件数；797,085件 ・フェイスブックのいいね数；2,894件 ・ツイッターのフォロワー数；6,918件</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標 1 各種施策の推進による消防基盤の整備

重点施策 3	地域消防防災の中核的役割を担う消防団体制の充実強化	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成25年法律第110号）」に基づき、地域消防防災力向上のため、更なる消防団体制の充実強化を図ります。</p> <p>○新たな消防団員の確保のため、各消防署の行事及び市民見学会等において、事業所・自治会・学生等へ積極的に消防団のPR活動を行い、入団促進を図ります。</p> <p>○各種消防団関連制度を推進します。</p> <p>○消防団組織体制について検討を行ってから10年が経過し、変化する社会情勢に対応し、また地域防災力の向上を図るため、消防団組織体制の見直しを行います。</p>	<p>○消防団体制の充実強化を図るため、機関運用訓練を5月に実施し、災害対応をメインとした訓練を実施した。</p> <p>○大規模災害等に対応できるよう、分団長以上を対象に現場指揮課程を実施した。</p> <p>○各消防署で消防団入団の促進を行うとともに、プロスポーツ会場において、消防団のPR活動を実施した。</p> <p>○消防団組織体制の整備検討委員会を設置し、消防団組織体制の見直しを図る検討会を実施した。</p>	<p>総務課</p>
	<p>【成果指標】</p> <p>○消防団器具置場の整備 2棟（建築工事：萩台、実施設計：幕張西）</p> <p>○小型動力ポンプ付き積載車の整備 1台（長沼原）</p> <p>○救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車の整備 1台（萩台）</p> <p>○防火衣・防火帽・防火長靴の仕様変更 58着</p> <p>○消防団入団促進活動回数 33回</p> <p>○学生消防団員数 9人増</p> <p>○消防団員充足率 100%</p> <p>○千葉市消防団協力事業所登録数 5事業所増（累計50事業所）</p> <p>○千葉市消防団応援事業所登録数 28件増（累計100件）</p> <p>○千葉市学生消防団活動認証数 3人増</p> <p>○「千葉市消防団組織体制の整備について」の見直し</p>	<p>《成案》</p> <p>○消防団器具置場の整備2棟 2棟/2棟=100%</p> <p>○小型動力ポンプ付積載車の整備 1台/1台=100%</p> <p>○救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車の整備 1台/1台=100%</p> <p>○防火衣・防火帽・防火長靴の購入 防火衣55着/58着=95% 防火帽215個/58個=371% 防火長靴55足/58足=95%</p> <p>○消防団入団促進活動の実施 6消防署×5回、各プロスポーツ会場での実施=100%</p> <p>○学生消防団員数 10人増/9人=111%</p> <p>○消防団充足 713人/840人=85%</p> <p>○千葉市消防団協力事業所登録数 5事業所増（50事業所） 5/5=100%</p> <p>○千葉市消防団応援事業所登録数 34件増（113事業所） 34/28=121%</p> <p>○千葉市学生消防団活動認証数 3人/3人=100%</p> <p>○「千葉市消防団組織体制の整備検討委員会」の設置</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標 1 各種施策の推進による消防基盤の整備

重点施策 4	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた安全・安心な体制の構築	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○開催競技会場を管轄する消防機関として策定する「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防局対応計画」について、内容を充実させ、大会開催に向けて安全・安心な体制を構築していきます。</p>	<p>○「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防局検討委員会」及び「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防局検討委員会作業部会」において、検討を行った。</p>	総務課
	<p>【成果指標】 ○「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防局対応計画」の内容充実</p>	<p>《成果》 ○検討委員会5回、作業部会2回を開催し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における「警備車両の確保」、「警備人員の確保」等について検討を進めた。</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標2 ワークライフバランスの実現及び健康管理体制の充実

重点施策5	ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現と男性職員の育児等への関与度の向上	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○長時間労働の削減を図ります。 所属長のマネジメント力の発揮や職員の意識改革を通じて、業務の見直しや、働き方の見直しを図るため、以下の取組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務の削減を図ります。 ・職員の月60時間を超える時間外勤務を原則禁止するとともに、年間の時間外勤務等の上限360時間を超えないようにします。 <p>○男性職員の育児等への関与度合いの向上 男性が育児・家事に参加することにより、仕事と生活の調和が図られ、男女がともに充実し、職業生活、その他の社会生活及び家庭生活を送ることが出来るよう、以下の取組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性職員の育児休業取得率の向上を図ります。 ・男性職員の育児参加休暇取得率の向上を図ります。 ・男性職員の配偶者出産休暇（エンゼル休暇）の取得率向上を図ります。 ・原則最低週1回の保育所等への送迎を行うようにします。 	<p>○長時間労働の削減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務の削減のため、終礼及び一斉定時退庁日の実施を推進した。 ・職員の月60時間を超える時間外勤務を原則禁止するとともに、年間の時間外勤務等の上限360時間を超えないように周知した。 <p>○男性職員の育児取得促進について、定期的に全所属にメール周知した。</p>	人事課
	<p>【成果指標】</p> <p>○長時間労働の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属単位ごとの時間外勤務時間数削減率 前年度比10%削減 <p>○男性職員の育児等への関与度合いの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児休業取得者／対象者 = 13%以上 ・育児参加休暇取得者／対象者 = 100% ・配偶者出産休暇取得者／対象者 = 100% ・1週間に1回以上は保育所等への送迎を行う職員／対象者 = 80%以上 	<p>《成果》</p> <p>○長時間労働の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属単位ごとの時間外勤務時間数削減率 前年度比0.5%削減（全体） 10%削減達成【3所属/16所属】 月60時間超時間外勤務：延べ23人 年360時間超時間外勤務：41人 <p>○男性職員の育児等への関与度合いの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性職員の育児休業 育児休業取得者 12人／対象者60人=20% ・男性職員の育児参加休暇 育児参加休暇取得者 35人／対象者 60人=58.3% ・男性職員の配偶者出産休暇（エンゼル休暇） 配偶者出産休暇取得者 51人／対象者 60人=85% ・原則最低週1回の保育所等への送迎 1週間に1回以上は保育所等への送迎を行う職員 88人／対象者 101人=87.1% 	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標2 ワークライフバランスの実現及び健康管理体制の充実

重点施策6	健康管理対策の推進	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○健康管理に関する各種講習会等の受講を推進します。 ○心身の健康障害の予防、早期発見及び早期治療を推進します。</p>	<p>○各種研修の積極的な参加により、健康管理への意識を高めた。 ○定期健康診断結果を受けた二次検診の受検等、心身の健康障害を早期発見により防止した。</p>	人事課
	<p>【成果指標】 ○健康管理対策に関する知識の向上 各種健康管理に関する研修会の参加者 168名（平成27～29年平均）以上 ○心身の健康障害の予防、早期発見・早期治療 ・健康診断二次検診受検率 100% ・ストレスチェック受検率 100%</p>	<p>《成案》 ○各種健康管理研修会参加人数 222名 ○心身の健康障害の予防及び早期発見、早期治療 ・健康診断二次検診受検率 99.5% ・ストレスチェックの受検率 100%</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標3 消防施設及び消防車両の整備による消防力の充実強化

重点施策7 消防庁舎等の整備		実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○消防活動拠点としての機能を確保するため、消防庁舎の新設事業を推進します。</p> <p>○消防庁舎等の機能及び環境を維持するため、修繕を行い職場環境の充実を図ります。</p>	<p>○消防庁舎の建替事業等を推進した。</p> <p>○消防庁舎等の修理、改善を行い、職場環境の充実を図った。</p>	施設課
	<p>【成果指標】</p> <p>○あすみが丘出張所（仮称）の杭打工事及び本體工事の実施</p> <p>○美浜消防署及び打瀬出張所の空調設備改修工事の実施</p> <p>○非常用電源設備等の整備に係る実施設計の実施</p>	<p>《成果》</p> <p>○あすみが丘出張所計画は建築許可取得のための調整等に時間を要し、実施設計完了が当初予定から1年遅延したため、工事着手は令和元年度となった。</p> <p>○美浜消防署及び打瀬出張所の空調改修工事を計画通り実施した。</p> <p>○非常用電源設備の実施設計を計画通り実施した。</p>	
重点施策8 消防車両等の整備		実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○車両更新計画に基づき、計画的に消防車両等を整備し、消防力の維持向上を図ります。</p> <p>○消防車両等の計画的な法定点検整備及び迅速な修繕対応等により、安定した消防力を確保します。</p>	<p>○車両更新計画に基づき、11台を導入し消防力の向上を図った。</p> <p>○219台の消防車両等について計画的に法定点検整備を行い、その内11台（消防団車両1台を含む）について法定点検整備の平準化を計った。また、388件の修繕を実施し、安定した消防力を確保した。</p>	施設課
	<p>【成果指標】</p> <p>○消防車両等の導入 11台</p> <p> 《導入予定車両》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水槽付消防ポンプ自動車 1台（土気） ・化学消防ポンプ自動車 1台（打瀬） ・消防ポンプ自動車 1台（都賀） ・指揮統制車 1台（美浜） ・高規格救急自動車 5台（中央第一、生浜、臨港、都賀、越智） ・火災原因調査車 1台（予防課） ・査察車 1台（指導課） 	<p>《成果》</p> <p>○消防車両等の導入（導入台数／導入予定台数11台）＝100%</p> <p> 《導入車両》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水槽付消防ポンプ自動車 1台（土気） ・化学消防ポンプ自動車 1台（打瀬） ・消防ポンプ自動車 1台（都賀） ・指揮統制車 1台（美浜） ・高規格救急自動車 5台（中央第一、生浜、臨港、都賀、越智） ・火災原因調査車 1台（予防課） ・査察車 1台（指導課） 	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標4 学校教育の充実による人材育成の推進

重点施策9 教育訓練内容の充実		実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○実火災を想定した実践的な訓練の実施により、消防職団員の災害対応能力を向上させます。</p> <p>○新規採用職員（初任科生）の資質を向上させます。</p> <p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国語教育を充実させます。</p>	<p>○実践的な教育訓練を充実させ、消防職団員の災害対応能力の向上を図った。</p> <p>○新規採用職員（初任科生）の資質の向上を図った。</p> <p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国語教育の充実を図った。</p>	消防学校
	<p>【成果指標】</p> <p>○模擬家屋等を活用した実践的訓練の実施課程 初任科基礎課程、警防課程、新人再教育課程、現場指揮課程</p> <p>○効果測定結果「優」取得率 初任科生68%以上</p> <p>○迅速活動訓練の基準タイム達成率 初任科生80%以上</p> <p>○外国語教育実施回数 平成29年度実績（計3回・6日）超</p>	<p>《成果》</p> <p>○平成30年度実績：警防課程、新人再教育課程、団現場指揮課程</p> <p>○新規採用職員の効果測定結果「優」取得率 72%</p> <p>○迅速活動訓練の基準タイム達成率 初任科生 87%</p> <p>○外国語教育実施回数 平成30年度実績（計6回・12日）</p>	
重点施策10 教育訓練の指導体制及び環境の充実		実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○消防学校職員を他教育機関等に派遣し、指導能力の向上を図ります。</p> <p>○災害現場活動、火災原因調査、立入検査等について学習する消防教育訓練システム（消防職員向けeラーニング）を充実させます。</p>	<p>○消防学校職員を他教育機関等に派遣し、指導能力向上を図った。</p> <p>○消防教育訓練システムeラーニングの教材作成を所管課に依頼し、消防教育訓練システムの充実を図った。</p>	消防学校
	<p>【成果指標】</p> <p>○消防学校職員の派遣回数 10回</p> <p>○消防教育訓練システムの学習教材数 25教材</p>	<p>《成果》</p> <p>○他教育機関等への派遣実績：計15回 27人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国消防学校長会会議関係 計5回 11人 ・東京消防庁消防学校 1回 2人 ・横浜市消防訓練センター 3回 4人 ・千葉県消防学校 計4回 7人 ・海上災害防止センター防災訓練所 1回 2人 ・消防大学校現任教官科 1回 1人 <p>○消防教育訓練システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習可能教材数 25教材 	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標5 大規模災害等に備えた消防活動体制の充実強化

重点施策11	消防・救助体制の充実強化	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○指揮隊の災害現場における指揮体制の強化をはじめ、消防力の向上を図ります。</p> <p>○複雑多様化する災害に対応するため、救助技術の向上を図ります。</p> <p>○大規模災害等に備えた消防水利の整備及び消防資機材の充実強化を図ります。</p> <p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、競技会場を考慮した消防警備計画の検討及びテロ災害等に対応した訓練を実施します。</p>	<p>○各種訓練等を実施し、指揮体制の強化及び消防力の向上を図った。</p> <p>○複雑多様化する災害に対応するため、救助技術の向上を図った。</p> <p>○大規模災害等に備えた消防水利の整備及び消防資機材の充実強化を図った。</p> <p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、テロ災害等の対応強化を図った。</p>	警防課
	<p>【成果指標】</p> <p>○指揮体制の強化及び消防力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警防計画のに基づく図上訓練及び現地訓練の実施 ・警防技術大会の実施 ・消防活動基準の見直し ・消防技能管理基準総合判定B級以上 98%以上 <p>○救助技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助隊員の基礎能力確認 総合等級1級 100% ・大規模長時間救助活動訓練の実施 ・国際消防救助隊千葉県連携訓練への参加 <p>○消防資機材等の充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアーテントの更新 ・防火衣等の個人装備品及び車両積載資機材の更新 <p>○競技会場を考慮した消防警備計画の検討及び訓練の実施</p>	<p>《成果》</p> <p>○指揮体制の強化及び消防力の向上を図るため、次のとおり訓練等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警防計画に基づく図上訓練631回、現地訓練146回実施した。 ・警防技術大会を10月30日、31日に実施した。 ・消防活動基準を6月1日に改正した。 ・消防技能管理基準総合判定B級以上の者99%を達成した。 <p>○救助技術の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助隊員の基礎能力確認を実施し、総合等級1級の者100%を達成した。 ・大規模長時間救助活動訓練を12月8日、9日に実施した。 ・国際消防救助隊千葉県連携訓練に11月7日、8日に実施した。 <p>○消防資機材等の充実強化のため、次のとおり更新を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアーテントを1基更新した。 ・防火衣を101着更新した。 ・マット型空気ジャッキ2式を更新した。 <p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、テロ災害対応訓練を次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県国民保護図上訓練を1月21日に実施した。 ・JR千葉駅合同テロ対策訓練を11月14日に実施した。 ・NBC災害総合連携訓練（埼玉スタジアム）を11月21日に実施した。 	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標5 大規模災害等に備えた消防活動体制の充実強化

重点施策12	広域消防応援体制及び受援体制の充実強化並びに特殊災害対応能力の向上	実施状況	所管課
重点 取 組 事 項	<p>○大規模災害時における広域消防応援体制及び受援体制の充実強化を図ります。 ONBC災害等特殊災害能力の向上を図ります。</p>	<p>○大規模災害時における広域消防応援体制及び受援体制の充実強化を図った。 ONBC災害等特殊災害能力の向上を図った。</p>	警防課
	<p>【成果指標】</p> <p>○大規模災害に備えた消防応援体制及び受援体制の充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災対応訓練の実施 ・消防対策本部統制部訓練の実施（2回） ・緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（神奈川県）への参加 ・千葉県消防広域応援隊合同訓練への参加 <p>○NBC災害等特殊災害対応能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NBC災害活動マニュアルの見直し ・NBC災害対応訓練（図上訓練2回、実動訓練1回） ・CBRNE研修会の実施（年7回） 	<p>《成果》</p> <p>○大規模災害に備えた消防応援体制及び受援体制の充実強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災対応訓練を6月18日に実施した。 ・消防対策本部統制部訓練を5月8日、10月17日、2月8日に実施した。 ・緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（神奈川県）を11月30日、12月1日に実施した。 ・千葉県消防広域応援隊合同訓練を2月9日に実施した。 <p>○NBC災害等特殊災害対応能力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CBRNE災害活動マニュアルの見直しを実施中（平成31年度改正予定） ・NBC災害対応訓練（図上訓練2回、実動訓練2回）を実施した。 ・CBRNE研修会を3回実施した。 	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標6 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

重点施策13	応急手当普及啓発活動の充実強化及び救急需要対策の推進	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○応急手当普及啓発活動を推進します。 ○救急需要対策を推進します。</p>	<p>○市民（応急手当インストラクター）との協働により、年間を通して応急手当普及啓発活動を推進した。 ○市民活動団体との共同事業により地域の実情に則した救急需要対策を推進した。</p>	救急課
	<p>【成果指標】</p> <p>○応急手当普及啓発活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種救命講習年間受講者数 19,700人 ／普通・上級・短時間救命講習・応急手当WEB講習 18,500人 ／初級救命講習 1,200人 ・市民（応急手当インストラクター・ジュニアインストラクター）と協働した救命講習の開催 150回・延べ1,000人と協働 ・関係機関（日本赤十字社・市医師会・行政各部局等）と連携した救命講習の開催 <p>○救急需要対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関向けの「救急現状説明会」の開催 ・市民活動団体との協働による救急車の不適切な頻回利用者対策の実施 ・搬送困難事例の解消に向けた医療機関との連携強化 	<p>《成果》</p> <p>○応急手当普及啓発活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命講習年間受講者数 22,620人（115%） ／普通・上級・短時間救命講習・応急手当WEB講習 20,804人（112%） ／初級救命講習 1,609人（134%） ／指導者講習 207人 ・市民（応急手当インストラクター、ジュニアインストラクター）と協働した救命講習 212回・出向人数1,226人・受講人数10,012人 ・関係機関（日本赤十字社・市医師会・行政各部局等）と連携した救命講習受講者数 17,304人 <p>○救急需要対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度からの変更なしのため救急現状説明会は開催せず。 ・市民活動団体との共同事業（対象地域：稲毛区・美浜区）対象者45名、要請回数656件に対し事業を実施した結果、対象者18名、要請回数403件と減少した。 	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標6 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

重点施策14	救急業務高度化の推進	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○救急救命士の養成及び資格取得を推進します。 ○救急救命士を含む救急隊員の教育を推進します。 ○ICT（救急情報共有システム）を活用した救急業務を推進します。</p>	<p>○新規救急救命士を4人養成したほか、各種認定資格を取得させた。 ○青葉病院救急ワークステーション等で救急救命士を含む救急隊員の教育を実施した。 ○救急情報共有システムを活用した救急業務を推進した。</p>	救急課
	<p>【成果指標】</p> <p>○救急救命士の養成及び資格取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規救急救命士 4人 ・気管挿管認定救急救命士 8人 ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士 8人 ・薬剤投与認定救急救命士 2人 <p>○救急救命士を含む救急隊員の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急ワークステーション及び研修協力医療機関での教育 ／救急救命士の再教育 132人 ／救急救命士以外の救急隊員の再教育 168人 ／救急救命士就業前病院研修 11人 <p>○ICTを活用した救急業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急現場滞在時間の短縮 ・新たな生体観察用機器の導入に向けた医療機関との連携 	<p>《成果》</p> <p>○救急救命士の養成及び資格取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士（新規）4人（100%） ・気管挿管認定救急救命士 9人（113%） ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士 10人（125%） ・薬剤投与認定救急救命士 12人（600%） <p>○救急救命士を含む救急隊員の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急ワークステーション及び研修協力医療機関での教育 ／救急救命士の再教育 132人（100%） ／救急救命士以外の一般救急隊員の再教育 118人（70%） ／救急救命士就業前病院研修 11人（100%） <p>○ICTを活用した救急業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急現場滞在時間 H29年度 19.9分→H30年度 21.3分 ・新たな生体観察用機器の導入に向けて、千葉大学医学部附属病院との共同研究を実施した。 	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標7 災害発生に備えた消防指令体制の充実強化

重点施策15 無線通信基盤等の再整備の推進		実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○機器更新計画に沿って、各種事業を推進します。</p> <p>○災害直後の迅速な意思決定体制維持のため、無線通信機器の更新を行い、情報収集能力の充実及び災害現場での通信環境の確保を図ります。</p>	<p>○更新計画について、関係機関と調整を行った。</p> <p>○無線機器の機能及び性能について調査を行い更新した。</p>	指令課
	<p>【成果指標】</p> <p>○指令機器の更新に向け、関係機関との調整を行い、契約を締結</p> <p>○無線通信機器の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 署活系無線機の更新 69機 ・ 防災相互波用無線設備の更新 基地局1式、移動局6機 	<p>《成果》</p> <p>○関係機関と調整を行い、機器更新契約の締結を行った。</p> <p>○署活系無線機40機を更新した。57.9%</p> <p>○防災相互波用無線機、基地局1式、移動局6機を更新した。100%</p>	
重点施策16 指令管制員の教育体制の充実		実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○指令管制員の教育体制を充実し、知識、技術の向上及び伝承を図ります。</p> <p>○各種訓練を実施し、指令管制業務の均質化を図ります。</p> <p>○各種無線技士の養成を推進します。</p>	<p>○指導管制員制度を策定した。</p> <p>○訓練計画に基づき各種訓練を実施した。</p> <p>○人選し、各種無線技士の養成を実施した。</p>	指令課
	<p>【成果指標】</p> <p>○指導管制員の運用開始</p> <p>○各種訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 招集訓練 4回 ・ システム停止訓練 4回 ・ 無線運用訓練 4回 ・ 口頭指導訓練 4回 <p>○119番受付から出動指令までの時間 2分以内を維持継続</p> <p>○無線技士の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一級陸上特殊無線技士 1人 ・ 航空特殊無線技士 3人 ・ 第二級海上特殊無線技士 1人 	<p>《成果》</p> <p>○指導管制員4名を指名し、運用を開始した。</p> <p>○招集訓練4回、システム停止訓練4回、無線運用訓練4回、口頭指導訓練4回を実施した。100%</p> <p>○受付から出動指令までの平均時間 1分14秒。100%</p> <p>○第一級陸上特殊無線技士 1人、航空特殊無線技士 3人、第二級海上特殊無線技士 1人を養成した。100%</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標8 機動力を活用した航空消防体制の充実強化

重点施策17		安全運航体制の充実強化	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○安全運航体制を充実させるため、各種訓練を実施し、不安全要素に対する洞察力の向上を図ります。 ○各種講習会等へ積極的に参加し、安全運航に関する知識の向上に努めます。</p>		<p>○各種訓練を計84回実施。 ○計器飛行訓練計4人実施、整備関係講習会計2人受講</p>	航空課
	<p>【成果指標】</p> <p>○各種訓練の実施 ・操縦訓練 30回 ・隊員訓練 20回 ・防災訓練 20回</p> <p>○各種講習会への参加 ・計器飛行訓練 4人 ・整備関係講習会 2人</p> <p>○無事故飛行の延伸 ※平成29年12月31日現在7,818時間</p>		<p>《成果》</p> <p>○各種訓練の実施状況 ・操縦訓練25回実施、83% ・隊員訓練21回実施、105% ・防災訓練38回実施、190%</p> <p>○各種講習会への参加状況 ・計器飛行訓練4人実施、100% ・整備関係講習会2人受講、100%</p> <p>○無事故飛行の延伸状況 ※平成31年3月31日現在8,082時間43分</p>	
重点施策18		救助隊、消防隊及び救急隊との連携訓練による航空消防活動の充実強化	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○連携航空救助員の養成を行い、航空救助活動の充実強化を図ります。 ○救助隊との連携救助訓練、消防隊及び救急隊とのドクターピックアップ救急活動連携訓練を実施し、災害対応能力の向上を図ります。</p>		<p>○習熟訓練を平成31年1月21日～1月24日の4日間実施 ○救助隊との連携訓練を計9回、救急隊等との連携訓練を1回実施</p>	航空課
	<p>【成果指標】</p> <p>○連携航空救助員の習熟訓練 6人 ○救助隊及び救急隊等との連携訓練 20回</p>		<p>《成果》</p> <p>○連携航空救助員の習熟訓練を6人実施、100% ○救助隊及び救急隊等との連携訓練を計10回実施、50%</p>	
重点施策19		県内消防機関との連携強化	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○県内消防機関との実災害を想定した連携訓練を実施し、広域的な活動を推進します。</p>		<p>○県内5消防機関との連携訓練を実施</p>	航空課
	<p>【成果指標】</p> <p>○県内消防機関を対象とした連携訓練の実施 5消防機関</p>		<p>《成果》</p> <p>○県内5消防機関（木更津、栄町、柏、浦安、船橋）との連携訓練を実施 100%達成</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標9 市民の安全・安心な暮らしを守る火災予防行政の推進

重点施策20	住宅防火対策の推進	実施状況	所管課
	<p>○住宅用火災警報器など住宅用防災機器等の設置及び交換等の適切な維持管理を推進を図ります。</p> <p>○幼少年から高齢者まで各世代で必要とされる防火知識の普及啓発を図ります。</p> <p>○感震ブレーカー等の普及促進を図ります。</p> <p>○感震ブレーカー配布及び設置補助のモデル事業を行います。</p>	<p>○インターネット、HPや町内会回覧にて維持管理方法を周知するとともに、イベント等で維持管理に対して広報しました。</p> <p>○各種世代に対して施設見学や防火防災訓練等の折りに防火教育・防火講話を行いました。また、イベント等で住宅防火リーフレットの配布を行いました。</p> <p>○デモ機やリーフレットを活用し、市政出前講座や各種イベントを通じて、普及啓発活動を行いました。</p> <p>○重点密集市街地1地区に配布事業、要改善市街地2地区に補助事業を実施しました。</p>	<p>予防課</p>
<p>重点 取 組 事 項</p>	<p>【成果指標】</p> <p>○住宅用火災警報器の設置世帯数（自動火災報知設備等を設置する世帯を含む。） ／市内対象世帯数 =90%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント、市政出前講座等において、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の推進を図る。 <p>○住宅防火講話（住宅用火災警報器維持管理を含む） 370回</p> <p>○一人暮らしの高齢者を対象とした住宅防火訪問指導 120回</p> <p>○幼少年向け住宅防火教育 213回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児 79施設（市内保育所・幼稚園等236施設／3年） ・小学生 113校（市内小学校113校：全小学4年生対象） ・中学生 21校（市内中学校61校／3年） <p>○感震ブレーカー等の普及促進 市政出前講座等のあらゆる機会を通じ、デモ機、リーフレット等を活用した説明会を実施</p> <p>○感震ブレーカー配布及び設置補助のモデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布事業 重点密集市街地（1地区）800世帯 ・補助事業 要改善市街地（11地区）200世帯 	<p>《成果》</p> <p>○住宅用火災警報器の設置世帯数 2,107世帯／2,317世帯=90.9%</p> <p>○住宅防火講話 487回／370回=131.6%</p> <p>○住宅防火訪問指導 19回／120回=16%</p> <p>○幼少年向け住宅防火教育 272回／213回=127.7%</p> <p>○市政出前講座 11回（延べ508人） 消防フェア等イベント 27回実施</p> <p>○稲毛区稲毛東5丁目 786世帯に対し749世帯に配布 配布率 95.3%</p> <p>○中央区道場南第4協和会 134世帯、中央区旭栄会 67世帯 計 201世帯に補助を実施しました。</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標9 市民の安全・安心な暮らしを守る火災予防行政の推進

重点施21	火災調査体制の充実強化	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○火災調査に係る集合研修及び火災現場等における実地研修により、火災調査に対する経験値を上げ、より高度な調査技術を習得させ、調査員の知識、技術の向上を図ります。</p> <p>○火災調査から得られた調査結果を有効活用し、類似火災防止と火災原因不明率の低減化を図ります。</p>	<p>○火災調査研修会6科目(調査指揮要領、電気鑑識要領、ガス機器鑑識要領、実規模建物実習、車両火災研修、火災調査と訴訟)、職員教育のための実況見分の見学11回、火災調査員ゼミナール1回、火災調査事務研修会1回実施し、広く職員の知識・技術の向上を図りました。</p> <p>○火災調査結果を基に作成した統計結果を、市民広報の資料等に記載し、類似火災防止の広報に活用しました。</p> <p>○平成30年8月に美浜区で発生した建物火災事案については、製品の不具合によることが判明したため、製造事業者に対し、火災予防上の適切な対応を取ることにについての要望書を提出し、再発防止を促しました。</p>	予防課
	<p>【成果指標】</p> <p>○火災調査に係る各種研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災調査に係る集合研修(6科目×50人=300人) ・火災現場等における実地研修(12回×5人=60人) <p>○不明火災の低減化 不明率 2%以下(火災原因不明/火災件数)</p> <p>○類似火災防止のための火災調査結果の有効活用(火元者・事業所・製品製造メーカーへの積極的な指導・助言)</p>	<p>《成果》</p> <p>○火災調査研修会6科目開催 参加者合計326人 326人(6科目)/300人(6科目)=109%</p> <p>○職員教育のための実況見分の見学会11回開催 参加合計 45人 45人(11回)/60人(12回)=75%</p> <p>○火災原因不明率(火災原因不明/火災件数) 4件/261件=1.53%</p> <p>○製品火災に伴う再発防止対策について(要望書)を製造業者に提出しました。</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標9 市民の安全・安心な暮らしを守る火災予防行政の推進

重点施策22	市民との協働による自主防火の推進	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○千葉市中央地区商店街協議会（以下「中商協」という）と協働し、地域における防災力の向上と建物の防火安全性の向上を図るため、中商協会員等による防火パトロールを実施し、建物等周辺における放火危険因子等を早期に発見するとともに、火災予防の普及啓発を行います。</p> <p>○効果的な火災予防の啓発が実施できるよう中商協会員及び建物関係者に対し防火推進員養成講座を開催します。</p>	<p>○千葉市中央地区商店街協議会に加盟する商店街ごとに当該地区内の防火・防犯パトロールを実施するとともに、防火に関するリーフレットの配布を行いました。</p> <p>○千葉市中央地区商店街協議会会員及び建物関係者に対して、防火推進員養成講座を開催しました。</p>	予防課
	<p>【成果目標】</p> <p>○中央地区(中商協が所存する地区)内建物における消防法令違反(防火管理者未選任、消防用設備等の点検未実施・未報告等)の未然防止及び違反率の改善、火災危険因子等の早期発見</p> <p>○火災予防啓発活動による建物の防火管理対策の充実強化及び地域防災力の向上</p> <p>○防火推進員養成講座の開催 2回</p>	<p>《成果》</p> <p>○中央地区(中商協が所存する地区)内建物における消防法令違反(防火管理者未選任、消防用設備等の点検未実施・未報告等)の未然防止及び火災危険因子等の早期発見</p> <p>防火・防犯パトロール 合計93回実施、延べ474人参加</p> <p>消防法令遵守率 (平成27年度(協働事業開始前)→平成30年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「防火管理者選任率」 51.2%→80.7%(29.5pt改善) ・「消防用設備等点検報告率」 48.0%→53.5%(5.5pt改善) <p>○火災予防啓発活動による建物の防火管理対策の充実強化及び地域防災力の向上</p> <p>防火に関するリーフレットの配布数 531枚</p> <p>○防火推進員養成講座 2回開催 組合員等42人受講</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標10 査察業務の推進による火災予防対策の的確な対応

重点施策23	消防法令違反の早期是正による人命危険の排除	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○自動火災報知設備未設置等の重大な消防法令違反対象物及び防火管理者未選任等の消防法令違反対象物に対する違反是正を推進します。</p> <p>○法令改正により、新たに消防用設備等の設置が義務付けられた社会福祉施設等に対して立入検査等による指導を徹底します。</p> <p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた防火安全対策を図るため、以下の取組みを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅館、ホテル等における防火基準適合表示制度等を推進し、宿泊者等の安全を確保します。 ・宿泊施設や観光客等が立ち寄る可能性が高い観光施設等に対する重点査察等を実施します。 <p>○高度かつ専門的知識を必要とする査察業務・指導業務の質の向上を目指すため、所管課教育を充実させるとともに、高度な専門知識、予防技術資格者等の技術を有する人材を計画的に育成します。</p>	<p>○重大な消防法令違反及び防火管理者未選任等の消防法令違反があった防火対象物に対して、違反の是正が図られました。</p> <p>○消防法令改正に伴い規制強化の対象となる社会福祉施設等に対して、立入検査等による指導を実施し、火災予防対策の推進を図りました。</p> <p>○宿泊施設や観光施設等に対する重点査察等を実施し、防火安全対策の推進を図るとともに、宿泊施設に対しては、表示マーク等の交付の推進を図りました。</p> <p>○予防技術検定受験者に対して、所管課教育、プレテスト等を実施し、予防技術検定合格の支援を行いました。</p>	予防課
	<p>【成果指標】</p> <p>○重大な消防法令違反対象物に対する違反是正達成率 100% (平成30年度重大な消防法令違反是正対象物数/平成30年度重大な消防法令違反対象物数)</p> <p>○違反対象物に対する是正等の成果達成率 100% (平成30年度是正等の成果達成数/平成30年度査察実施計画数)</p> <p>○規制対象となる社会福祉施設等に対する立入検査等による指導実施率 100% (立入検査実施数+消防訓練立会い+法令改正に関するお知らせ文の郵送等による指導数/対象施設数)</p> <p>○防火・防災基準点検済証及び防火・防災優良認定証交付の推進</p> <p>○表示マークの交付率(交付済数/表示対象物数) 40%以上</p> <p>○重点査察等実施対象物に対する査察実施率 100%</p> <p>○所管課教育の充実(年間4研修以上実施)</p> <p>○予防技術資格の資格者育成</p>	<p>《成果》</p> <p>○重大な消防法令違反対象物に対する違反是正達成率 55.7% (違反是正達成対象物数41/重大な消防法令違反対象物数75)</p> <p>○違反対象物に対する是正等の成果達成率 90.8% (平成30年度是正等の成果達成数3,940(是正済3,383、部分是正557)/平成30年度査察実施計画数4,340)</p> <p>○規制対象となる社会福祉施設等に対する立入検査等による指導実施率 91.1% (立入検査実施数23+消防訓練立会い1+法令改正に関するお知らせ文の郵送等による指導数17/対象施設数45)</p> <p>○表示マークの交付率 24.7% (交付済数24/表示対象物数97)</p> <p>○重点査察等実施対象物に対する査察実施率 95.9% (平成30年度査察実施数4,164/平成30年度査察計画数4,340)</p> <p>○所管課教育の充実(査察対策室) 9研修/4研修=225% (査察執行責任者研修/若年層職員のための予防塾/違反処理研修/予防事務担当者研修/火薬類取締法研修/違反処理実務研修/予防技術検定受験者に対する教育/法令改正等説明会/高圧ガス保安法研修)</p> <p>○「防火査察」の合格者 81%(13人/16人)</p> <p>○「消防用設備等」の合格者 50%(1人/2人)</p> <p>○「危険物」の合格者 67%(2人/3人)</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標10 査察業務の推進による火災予防対策の的確な対応

重点施策24 危険物製造所等及び特定事業所の保安確保		実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○危険物製造所等の基準適合状況、維持管理状況及び危険物の貯蔵又は取扱いに係る保安を確保します。</p> <p>○特定事業所の自衛防災組織体制の充実強化及び対応能力の質的向上に関する指導を引き続き推進します。</p>	<p>○危険物製造所等（特定事業所含む）に対する立入検査を実施しました。</p> <p>○特定事業所及び共同防災組織に対する防災体制（対策）に係る石油コンビナート等防災本部との合同立入検査を実施しました。</p> <p>○特定事業所の自衛防災組織に対する訓練の指導・育成を充実し、「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト（総務省消防庁主催）」への参加及び訓練の指導を行いました。</p>	予防課
	<p>【成果指標】</p> <p>○危険物製造所等（特定事業所含む）に対する立入検査実施率 100% （平成30年度立入検査実施数／平成30年度立入検査実施計画数）</p> <p>○特定事業所及び共同防災組織に対する防災体制（対策）に係る石油コンビナート等防災本部との合同立入検査実施率 100%</p> <p>○特定事業所の自衛防災組織に対する訓練の指導・育成を充実し、「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト（総務省消防庁主催）」の応募資格を有する自衛防災組織の参加 100%</p>	<p>《成果》</p> <p>○危険物製造所等立入検査 97.3%（立入検査実施済694／計画数713）</p> <p>○石油コンビナート等防災本部との合同立入検査 100%</p> <p>○自衛防災組織の技能コンテストの参加 100% 及び奨励賞（消防庁官表彰）の受賞</p>	
重点施策25 火薬類施設及び高圧ガス施設の保安確保		実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○火薬類施設の基準適合状況、維持管理状況及び火薬類の貯蔵又は取扱いに係る保安を確保します。</p> <p>○高圧ガス施設の基準適合状況、維持管理状況及び高圧ガスの貯蔵又は取扱いに係る保安を確保します。</p>	<p>○火薬類施設に対する立入検査を実施しました。</p> <p>○高圧ガス施設に対する立入検査を実施しました。</p>	予防課
	<p>【成果指標】</p> <p>○火薬類施設に対する立入検査実施率 100% （平成30年度立入検査実施数／平成30年度立入検査計画数）</p> <p>○高圧ガス施設に対する立入検査実施率 100% （平成30年度立入検査実施数／平成30年度立入検査計画数）</p>	<p>《成果》</p> <p>○火薬類施設に対する立入検査 100% （立入検査実施済38／計画数38）</p> <p>○高圧ガス施設に対する立入検査 15.5% （立入検査実施済79／計画数511）</p>	

平成30年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標11 保安確保のための指導行政体制の整備

	重点施策26 指導行政に必要な審査指針等の整備	実施状況	所管課
重点取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ○危険物許認可等の事務処理を統一かつ適正に行うため、消防法令の改正に対応した危険物規制審査指針等の改正を行います。 ○消防同意等の事務処理を統一かつ適正に行うため、消防用設備等技術基準等の改正を行います。 ○火薬類取締法及び高圧ガス保安法に係る事務処理を統一かつ適正に行うため、千葉県と連携強化を図り、各審査指針等を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○危険物規制審査指針に給油取扱所等における単独荷卸しに係る運用等を追加した。 ○令別表第一に掲げる防火対象物の取扱い、非常警報設備に係る改正、質疑応答集の改正を行った。 ○火薬類取締法及び高圧ガス保安法に係る事務処理について千葉県と連携を図り各指針の整備を実施した。 	指導課
	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○危険物規制審査指針等の改正（平成30年度修正版） ○消防用設備等技術基準等の改正（平成30年度修正版） ○火薬類規制審査指針等の改正（平成30年度制定） ○高圧ガス規制審査指針等の整備（平成30年度制定） 	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○危険物規制審査指針の一部改正（平成30年度修正版） ○消防用設備等技術基準、消防用設備等特例基準及び消防用設備等の質疑応答集等の一部改正（平成30年度修正版）消防用設備等の特例基準の改正 ○火薬類規制審査指針等の改正実施 100% ○高圧ガス規制審査指針等の制定実施 100% 	